

# 10.1インチポータブルDVDプレーヤー

## M's CORTE

エムズコルテ

## MPD-SW1010

## 取扱説明書

### 製品内容

- ・ DVDプレーヤー本体
- ・ AC電源アダプタ
- ・ 車載用シガーソケットアダプタ
- ・ 音声・映像ケーブル
- ・ リモコン
- ・ リモコン用単四形乾電池（試供品） 2本
- ・ 車載用ベルト
- ・ 取扱説明書 兼 保証書（本書）

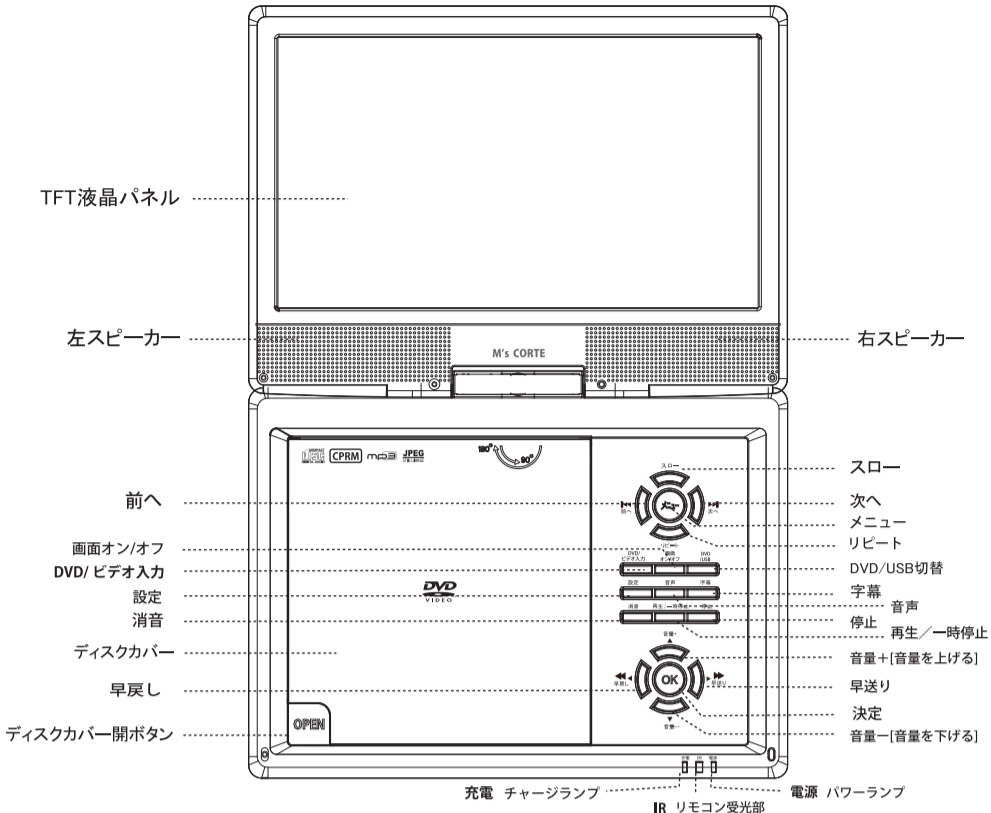
### 主な仕様

商 品 名	ポータブルDVDプレーヤー
パ ネ ル サ イ ズ	10.1インチワイド
液 晶 解 像 度	1024X600ピクセル
液 晶 駆 動 方 式	TFTアクティブマトリックス
電 源 定 格	AC100V 50/60Hz DC12V 1.5A (付属のACアダプタを使用してください)
A C ア ダ プ タ	AC100V 50/60Hz ※国内専用製品です、海外での使用はできません。
カ ー ア ダ プ タ	DC12V 1.5A ※24V車不可
許 容 動 作 温 度	5°C～35°C
バ ッ テ リ ー	リチウムイオン
消 費 電 力	15W(最大)
外 形 寸 法	約250×180×40 mm（最大突起部を含む）
本 体 質 量	約1000g(バッテリー含む)
映 像 / 音 声 出 力	対応(アナログ)
映 像 / 音 声 入 力	対応(アナログ)
U S B 端 子	1スロット
音 声 特 性	2チャンネルアナログ
音 声 出 力	1.5W×2 スピーカー、3.5mmミニジャック×1、3.5mmフォンジャック×1
連 続 再 生 時 間 <sup>※1</sup>	約4.5時間
充 電 時 間 <sup>※1</sup>	約3時間
リ モ コ ン	専用リモコン「RC-SBTD」使用
対 応 デ ィ ス ク	DVD-Video DVD-R / DVD-RW (VRモード/GPRM再生対応) DVD+R / DVD+RW 音楽CD (CD規格準拠のものに限る)、Video-CD CD-R / CD-RW (音楽用CDフォーマットデータ JPEG/MPEG1/MPEG2/MP3)

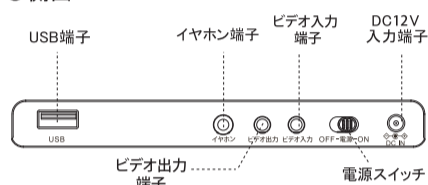
※1 連続再生時間および充電時間は、使用状況、使用環境により異なります。また、充電電池の経年劣化により、再生時間が短くなります。  
※ 仕様および外観は改良のため予告なく変更する場合があります。

# 1 各部の名称

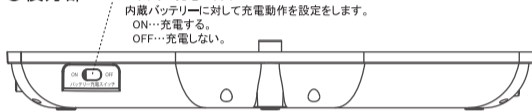
## ●液晶部、操作部



## ●側面



## ●後方部



### バッテリー充電スイッチについて

- 工場出荷時はOFFになっています。バッテリーを充電する際はONにしてください。
- 業務用途などACアダプタを接続したままご使用する場合、必ずバッテリー充電スイッチをOFFにしてください。

# 2 各部の名称/ボタン操作について

## ●リモコン



DVD/ビデオ入力 DVD/USB 画面オン/オフ 電源	:DVD/ビデオの入力を切り替えます :再生するメディアを切り替えます :画面を消します。もう一度押すと元に戻ります :本体起動時、電源ON/OFFします
数字入力ボタン シフト ①タイトル ②ズーム ③アングル 音量 [+] 消音 設定 画面表示	:チャプターやトラックなどをダイレクトに選択します :( <b>↑S</b> )が表示され、次に1~3を押すと以下の操作が出来ます。 ①タイトル :タイトル画面を表示します ②ズーム :画面を拡大 縮小します ③アングル :ディスクによって同じ場面を違った角度から視聴できます 音量 [+] :音声を調整することができます 消音 :音声を消すことができます 設定 :設定の確認や各種設定を変更することができます 画面表示 :再生中の情報を画面上部に表示します
メニュー プログラム 音声 字幕 決定 ▲ ▼ ◀ ▶	:ディスクのメニュー画面が表示されます :プログラム再生時に使用します :音声やサウンドトラックを切り替えることができます :字幕の選択をすることができます :操作や設定を決定します :上、下、左、右カーソルを移動することができます
リピート A-Bリピート スロー コマ送り ◀◀ 早戻し ▶▶ 再生/一時停止 2X 倍速再生 ▶▶▶ 早送り ◀◀◀ 前へ ■ 停止 ▶▶▶ 次へ	:繰り返し再生の設定をすることができます :繰り返し再生の範囲を設定することができます :スロー再生をすることができます :ディスク再生中に、このボタンを押すたびにコマ送り再生します。 ◀◀ 早戻し :早戻し再生をすることができます ▶▶▶ 再生/一時停止 :再生開始と一時停止をすることができます 2X 倍速再生 :2倍速再生を行います ▶▶▶ 早送り :早送り再生をすることができます ◀◀◀ 前へ :前のチャプターやトラックへ移動します ■ 停止 :停止状態にすることができます ▶▶▶ 次へ :次のチャプターやトラックへ移動します
戻る	:元の設定や画面に戻ることができます

## ●本体のみ

### ■ご注意ください

- DVDディスク、USBメモリとファイルによっては、操作制限等があり正常に動作しない場合があります。

## 準備する

# 3 リモコンを使う



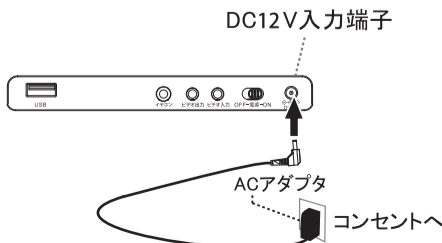
リモコン裏面のカバーを開けて、単四形乾電池2本を左図のとおりに入れカバーを閉めます。

# 4 ACアダプタを使う

- 本体のDC12V入力端子にACアダプタの出力ジャックを差し込みます。
- ACアダプタをコンセントに差し込みます。

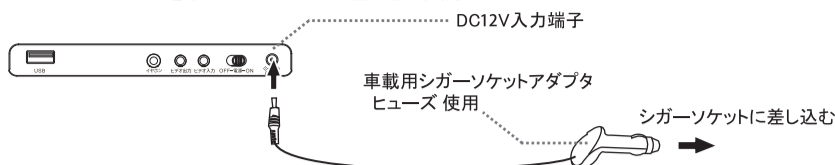
### ■ご注意ください

- 付属品以外のACアダプタを使用した場合、故障や破損の原因となります。
- 使用しない時、お手入れや点検を行うときは電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 本体のDC12V入力端子に差したまま過度に衝撃を加えると破損する可能性があります。



## 5 車載用シガーソケットアダプタを使う

1. 本体のDC12V入力端子に車載用シガーソケットアダプタの出カジャックを差し込みます。
2. シガーソケットアダプタを車のシガーソケットに差し込みます。



### ■ご注意ください

- ・シガーソケットアダプタは12V車専用です。12V以外のシガーソケットは使用しないでください。
- ・本製品を運転中に使用しないでください。事故の原因となります。
- ・車内に本体やアダプタを放置しないでください。特に高温になると本体が変形したり、バッテリー、DVDローダーなど、重要部品が故障する原因となります。
- ・エンジン始動後に、シガーソケットアダプタを接続してください。

## 6 充電する

1. 本体DC12V入力端子にACアダプタの出カジャックを差し込み、ACアダプタをコンセントに差し込みます。  
充電中 … チャージランプ 赤色点灯      電源ON … パワーランプ 青色点灯  
充電完了 … チャージランプ 緑色点灯      電源OFF … パワーランプ 青色消灯
  2. バッテリーの状態にもよりますが、充電時間は電源OFFの状態です約3時間で完了します。
- ※ ACアダプタ同様にシガーソケットからも充電する事が出来ます。
- ※ バッテリーの容量が低下すると、ディスプレイに電池マークが表示されます。  
その場合はできるだけ早く、充電を行うようにしてください。

## 7 液晶パネルの回転

液晶画面は開いた状態で、時計回り(右方向)に180度、反時計回り(左方向)に90度回転します。  
回転させる際は、液晶画面の縁と本体部分をしっかりと持って丁寧にゆっくり回転させてください。

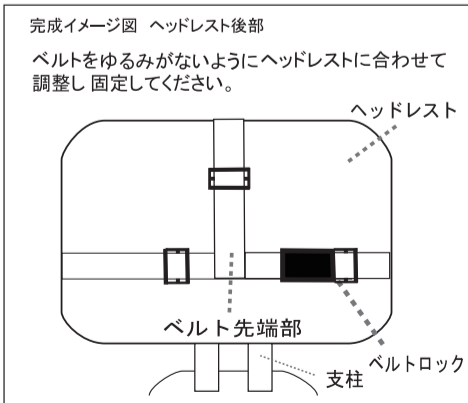
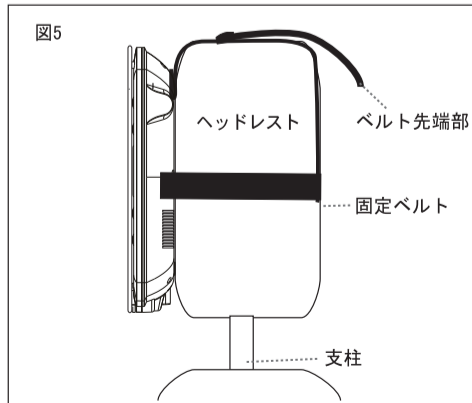
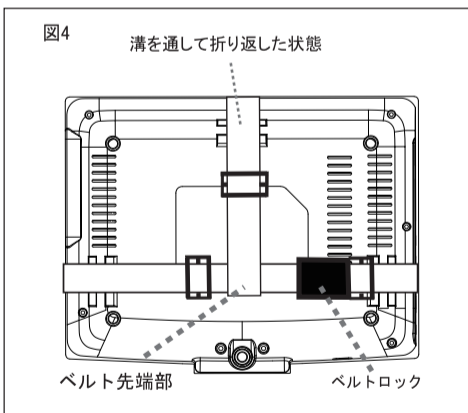
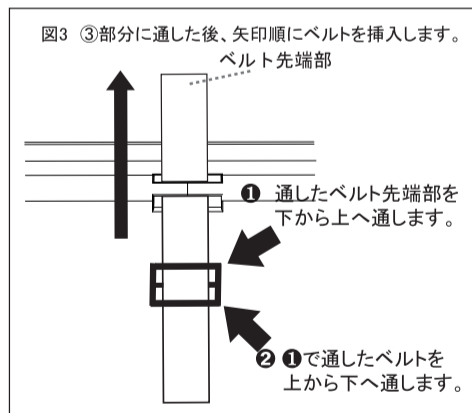
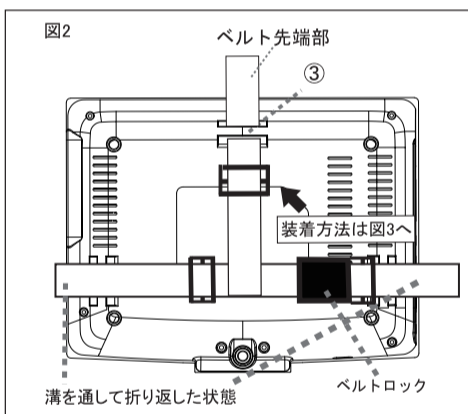
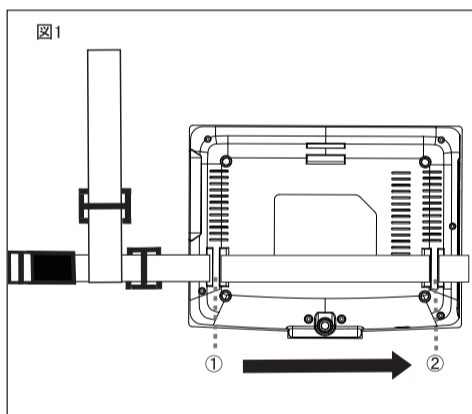
### ■ご注意ください

- ・液晶パネルを回転させるときにパネル部に触れないようにご注意ください。また、必要以上の力で回転させたり無理にパネル関節部を折り曲げると破損の原因となりますのでご注意ください。

## 8 車載用ベルトを使う

車載用ベルトを使って自動車のヘッドレストに装着することができます。

1. 本体の液晶パネルを時計回りにゆっくり180度回転させます。
2. 図1を参考に①から②の手順でベルトを通します。  
その後、②に通したベルト先端をベルトロックに取り付けます。  
ベルトを通すと図2の様な形になります。
3. 図2の③部分にベルトを通して、図3の矢印順にベルトを通します。完成すると図4の形になります。
4. 図4の様にベルトを通したら、車載ベルトを装着したプレーヤーをヘッドレストに被せます。  
図5の様に各ヘッドレストに合わせて調整をしていきます。



### ■ご注意ください

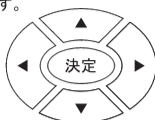
- ・ヘッドレストの形状によっては対応できない場合があります。
- ・車載専用DVDプレーヤーではありませんので、車内に放置したままにしないでください。
- ・エアバッグ動作の妨げになる場合、取り付けをしないでください。エアバッグそのものが動作しなかったり、エアバッグ動作時に本体が破損し、怪我などをするおそれがあります。
- ・車載用ベルトは時間の経過とともに少しずつベルトが緩む可能性があります。運転前に必ず車載用ベルトの取付状況をご確認して頂き、問題がある場合は、対応し、安全な状態で使用してください。

# 再生する

## 9 DVDを再生する

### ●基本操作

- 1) 本体の電源を入れます。
- 2) 本体の“OPEN”ボタンを押して、ディスクカバーを開けます。
- 3) ディスクのラベル印刷面を上にして、ディスクホルダー中央部にディスクをやさしく入れ、この時“カチッ”という音がするのを確認してください。
- 4) ディスクカバーを閉じます。  
※ ディスク面が間違っていたり、トレーの凹みにきちんと置いていない場合は、“ディスク無し”と表示されます。  
※ ディスクによっては、自動的に再生しないものや、メニュー画面が再生されないものがあります。
- 5) 決定(本体はOK)ボタン、または再生ボタン(▶||)を押すと再生が始まります。  
ディスクによっては自動的に再生が始まります。



画面にDVDメニューが表示された場合、リモコンの矢印キーで、お好みのメニューに合わせ、決定ボタンを押します。

### ■ご注意ください

- ・電源コードは、本体電源を切った状態で取り外してください。
- ・ディスク回転中に突然電源を切ると本体内部が破損する原因となりますので、十分ご注意ください。
- ・操作中、“⊘”マークの表示が画面に出る場合は、本製品またはディスク側で操作が禁止されていることを意味します。
- ・ディスクの再生中にメニュー画面が表示されたり、操作内容が表示されたときは、表示の指示に従って操作してください。
- ・ディスクカバーを無理に開いたり、強い力で扱うと破損の原因となります。
- ・ご購入後、最初に使用する時はDVDローダー部に取り付けられている保護紙を取り外してください。
- ・保護紙の下のDVDローダー用の白いケーブルを引っ張らないでください。DVD再生ができなくなります。

### ●ディスクメッセージ

下記メッセージが画面上に表示された場合は、再生ディスクとフォーマット形式が異なることが予想されます。

- リージョンエラー  
本機が再生できる地域(リージョン)“2”と違うディスクを再生しようとした場合に 표시됩니다。  
リージョンコード“2”、または、“ALL”以外のディスクは再生できません。
- パスワード(暗証番号)入力画面  
ディスクによっては視聴制限を設けているものがあります。  
本機で視聴制限レベルを設定したとき、ディスクとの視聴制限レベルと合わない場合に 표시됩니다。  
設定した暗証番号(初期パスワードは「136900」です)を入力することによって、ロックが解除されます。

### ■ご注意ください

- ・DVDディスクによっては、再生中、操作制限があったり、再生できないディスクもあります。
- ・記録条件により再生できない場合があります、全てのディスク再生に対応しておりません。

## 10 音声/静止画/動画ファイルを再生する

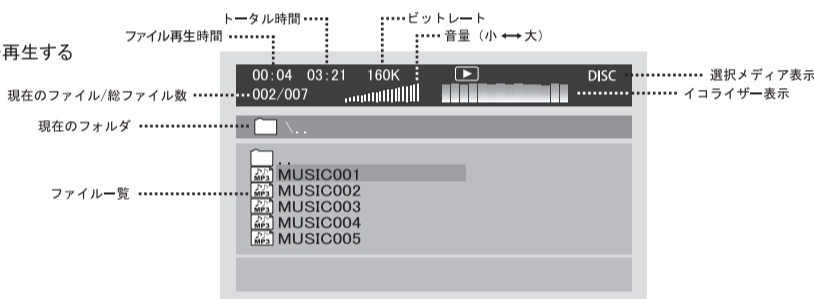
本機では、データCD(CD-ROM/CD-R/CD-RW)やデータDVD(DVD-ROM/DVD±R/DVD±RW)に記録されている音声ファイルや動画又は静止画ファイルを再生出来ます。また、USBメモリに記録しているファイルに対しても同様に再生することが可能です。

データCDやデータDVDを入れるとプレイリストが表示されます。USBメモリを選択した時も同様にプレイリストが表示されます。

☑️マークのファイルは再生非対応です。アイコンが正常に表示されていてもファイルにより再生できない場合があります。

### ●基本操作

#### ●ファイルを再生する



#### ・再生したいファイルの選択方法

上・下方向ボタンでファイルを選択し、「決定」ボタンを押すと選択したファイルが再生されます。フォルダを移動する場合は、ファイル一覧の“ □ ”やフォルダを選択し「決定」ボタンを押します。

#### ・ファイル再生中に使用できるボタン



方向ボタン、決定ボタン  
→ フォルダやファイルの選択をします。

※ 決定の表記がOKになっている場合がありますが、機能は同じです。

- |  |   |  |   |
|--|---|--|---|
|  | 再生/一時停止ボタン<br>→ 選択したファイルを再生/一時停止します。            |  | 停止ボタン<br>→ 再生を停止します。                            |
|  | 前へ(リモコン)<br>→ 1つ前のファイルを再生します。                   |  | 次へ(リモコン)<br>→ 1つ次のファイルを再生します。                   |
|  | 前へ(本体)<br>→ 前のファイルにカーソルを移動します。<br>決定(OK)で再生します。 |  | 次へ(本体)<br>→ 次のファイルにカーソルを移動します。<br>決定(OK)で再生します。 |
|  | 早戻し   |  | 早送り   |
|  | リピートボタン   |  | 音声ボタン   |
|  | プログラムボタン(リモコンのみ)                                |  | 部分リピートボタン(リモコンのみ)                               |
|  | 音量ボタン   |  | 消音ボタン   |

### ■ご注意下さい

各ファイルは、記録されたファイル数やサイズによって読み込みに時間がかかる場合があります。ファイルの作成方法などによって、再生できないファイルがあります。ファイルは記録された順に表示されます。MP3 PROで記録された音声、および動画ファイルは再生できません。日本語のファイル名や長いファイル名は正常に表示されない場合があります。

## 11 ディスクについて (1)

### ●再生できるディスクについて

#### ディスクの種類

- ・市販のDVD-VIDEO
- ・DVD-R/-RW (ファイナライズ済ディスク)
- ・CD-R/-RW
- ・DVD+R/+RW (ファイナライズ済ディスク)
- ・ビデオCD/音楽用CD

### ●CD/DVDIについてのご注意

本機は以下のフォーマットで記録したCD-ROM/CD-R/CD-RWを再生できます。

- ・音楽用フォーマット
- ・ビデオCDフォーマット
- ・ISO9660 レベル1/Joliet準拠の  
MP3音声トラック  
JPEG画像ファイル  
MPEG動画ファイル

本機は以下のフォーマットで記録したDVD-ROM/DVD-R/DVD-RW/DVD+R/DVD+RWを再生できます。

- ・UDF(ユニバーサルディスクフォーマット)準拠のMP3音声トラック、JPEG画像ファイル、MPEG動画ファイル

本機は録画したデジタル放送の番組を再生できる、CPRM\*に対応しています。

- ・DVDIに記録した地上デジタル放送やBSデジタル放送は、著作権保護のためCPRM対応プレーヤーでなければ再生できません。

\*CPRM(Content Protection for Recordable Media)とは、録画回数に制限がある番組に対する著作権保護技術です。

## 12 ディスクについて (2)

### ●再生できないディスクについて

本機では以下のディスクなどを再生することはできません。

- ・Blu-rayディスク
- ・AVCHD記録ディスク
- ・HD DVD
- ・DVD-RAM
- ・フォトCDフォーマットで記録したCD-ROM
- ・CD-EXTRAのデータ部分
- ・DVDオーディオ
- ・データDVDおよびデータCD
- ・スーパーオーディオCDのHD(ハイデンシティ)レイヤー
- ・このページで記載のフォーマット以外で記録したCD-ROM/CD-R/CD-RW

次のようなディスクも再生できません。

- ・本機では再生できないリージョンコード(地域番号)の市販のDVD
- ・円形以外の特殊な形状(カード型・ハート型など)をしたディスク
- ・紙やシールの貼られたディスク
- ・ゼロハンテープやレンタルディスクのラベルなどの糊がはみ出たり、はがした痕のあるディスク
- ・傷の多いディスク

### ●再生時のご注意

記録済みのCD-R/-RW、DVD-R/-RW、DVD+R/+RWは、傷や汚れ、また記録状態や記録機器、CD/DVD書き込みソフトの特性が原因で再生できないものがあります。

データ再生に関しては、エンコード方法などによって再生できないものもあります。

記録型DVDの記録終了時に終了情報を記録する「ファイナライズ」作業を行っていないディスクは再生できません。(詳しくはレコーダー等の取扱説明書をお読みください)

記録型メディアによっては、適切にファイナライズ作業が行われていても本機のいくつかの再生機能が使えなかったり、ディスクが正常に再生できない場合があります。また、パッケージライト方式およびマルチセッションで作成されたデータCD/データDVDには、再生できないものがあります。

本製品はコンパクトディスク(CD)規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として設計されています。いくつかのレコード会社より著作権保護を目的とした技術が搭載された音楽ディスクが販売されていますが、これらの中にはCD規格に準拠していないものがあり、本製品では再生できない場合があります。

DVD規格に準拠した面と、音楽専用面とを組み合わせたDual Discの音楽専用面は、コンパクトディスク(CD)規格には準拠していないため、本製品での再生は保証いたしません。

Blu-ray/DVDハイブリッドディスクは、記録方式が従来のDVD規格とは異なるため、本製品での再生は保証しておりません。

### ●DVD、ビデオCD再生時の操作について

DVD、ビデオCDはソフト制作者の意図により再生状態があらかじめ決められていることがあります。本機ではソフト制作者が意図したディスク内容に従って再生を行うため、操作したとおりに機能が働かない場合があります。再生するディスクに付属する取扱説明書も必ずご覧ください。

### ●リージョンコード(地域番号)について

リージョンコードは著作権保護を目的に設けられた制度です。市販のDVDビデオのパッケージには、販売地域によって、リージョンコードが表示されています。地域番号に「ALL」、または「2」が含まれているときは、本機で再生可能です。



### ●ディスクの取扱いについて

- ・再生面に手を触れないように持ちます。



- ・直射日光が当たるところなど、温度の高いところ、湿度の高いところには置かないでください。
- ・ケースに入れて保管してください。
- ・指紋やほこりなどによるディスクの汚れは、映像・音声の乱れの原因となります。取扱いには十分ご注意ください。
- ・ディスクのお手入れは、ディスクの取扱説明書等をご覧ください。
- ・ディスクを絶対に曲げないでください。破損や変形の原因となり、再生できなくなる場合があります。

## 設定する

## 13 設定する

リモコン、または本体の「設定」ボタンを押すと下記の画面が表示されます。  
◀▶左右ボタンで「一般設定」「サウンド」「画面設定」「初期設定」を選択し設定を行います。

### ●一般設定

一般設定	サウンド設定	画面設定	初期設定
画面表示	Wide		
アングルマーク	オフ		
OSD言語	JPN		
スクリーンセーバー	オン		
ラストメモリ	オン		
スピーカー 出力	オフ		

- ▼▲上下ボタンで「画面表示」「アングルマーク」「OSD言語」「スクリーンセーバー」「ラストメモリ」「スピーカー 出力」を選び▼▲上下ボタン、◀▶左右ボタンで設定を行います。「設定」を押すと元の画面に戻ります。
- ※スクリーンセーバーが起動後、一定時間(約5分)経過後スタンバイモードに移行します。

### ●サウンド設定

一般設定	サウンド設定	画面設定	初期設定
	デュアルMONO		
	ダイナミック		

- ▼▲上下ボタンで「デュアルMONO」「ダイナミック」を選び▼▲上下ボタン、◀▶左右ボタンで設定を行います。「設定」を押すと元の画面に戻ります。

### ●画面設定

一般設定	サウンド設定	画面設定	初期設定
		鮮明度	高
		明るさ	00
		コントラスト	00

- ▼▲ボタンで「鮮明度」「明るさ」「コントラスト」を選び▼▲上下ボタン、◀▶左右ボタンで設定を行います。「設定」を押すと元の画面に戻ります。

### ●初期設定

一般設定	サウンド設定	画面設定	初期設定
		TVタイプ	NTSC
		音声設定	JPN
		字幕設定	JPN
		ディスクメニュー	JPN
		視聴制限	
		パスワード	
		初期化	

- ▼▲上下ボタンで「TVタイプ」「音声設定」「字幕設定」「ディスクメニュー」「視聴制限」「パスワード」「初期化」を選び▼▲上下ボタン、◀▶左右ボタンで設定を行います。「設定」を押すと元の画面に戻ります。
- ※再生等の停止を行った後に、本設定を行ってください。

### ■ご注意ください

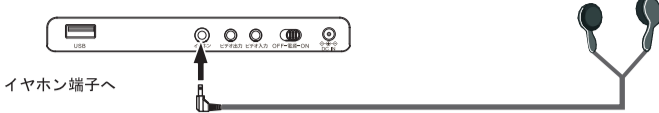
- ・各設定項目に対してみどりのカーソルがある項目が選択されている項目です。
- ・茶色が現在決定している項目です。設定項目を確定する場合は決定ボタンを押してください。

## 外部端子

### 14 イヤホン(別売)を使用する

●接続方法

ミニピンプラグのイヤホンやヘッドホンに対応します。  
※イヤホンまたはヘッドホンは別途ご購入ください。



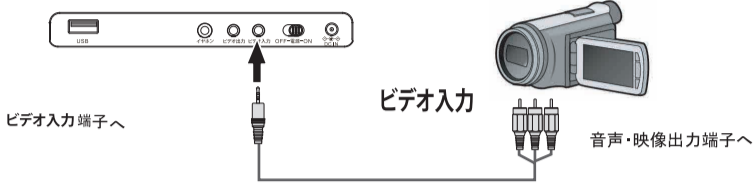
※大音量で長時間使用すると聴力に影響を及ぼす恐れがありますのでご注意ください。

### 15 テレビやモニターとつなぐ

●接続方法(ビデオ入力/ビデオ出力)

付属のAVケーブルを使用して、テレビやモニターに音声・映像を入出力することができます。

■音声・映像出力端子付きの再生機器



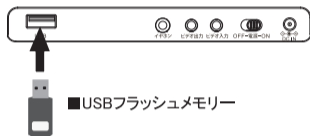
■音声・映像入力端子付きのテレビやモニター



### 16 USB端子を使用する

USB端子を使用して、USBフラッシュメモリーから音声・画像・動画を再生することができます。

●接続方法



■USBフラッシュメモリーからの再生に切り替える

- 1.USBフラッシュメモリーを差し込みます。
- 2.「DVD/USB」ボタンを押し、USBに切り替えます。

■USBフラッシュメモリーを取り外す場合は、読み込みをしていない時に抜いて下さい。

- 音声ファイル再生中の場合  
「停止」ボタンを押して、再生を停止させてからUSBフラッシュメモリーを取り外します。
- 静止画ファイル再生中の場合  
「メニュー」ボタンを押して、ファイル一覧画面にしてからUSBフラッシュメモリーを取り外します。
- 動画ファイル再生中の場合  
「メニュー」ボタンを押して、ファイル一覧画面にしてからメモリーカードを取り外します。

■ご注意下さい

- ・USBフラッシュメモリーにアクセスしているときは、取り外しを行わないでください。データが破壊されるおそれがあります。
- ・本機に搭載されているUSB端子は、USBフラッシュメモリーのみ対応します。他の機器を接続すると本機や外部機器の故障の原因となりますので、絶対に接続しないでください。USBフラッシュメモリーによっては対応しないものもあります。
- ・再生方法については **10** をご覧ください。  
ファイル作成方法などによっては再生が出来ない場合があります。

## その他

### 17 故障かな？と思ったら

画面が白黒になる	・設定ボタンを押して、「初期設定」の「映像信号方式」が「自動」か「NTSC」になっているか確認してください。(→ 13 設定する)
電源が入らない	・電源コードの接続を確認し、充電を行ってください。
再生できない / 画面に表示されない	・ディスクが中に入っているか確認してください。 ・機器が適切に接続されているか確認してください。 ・ディスクの汚れ、傷を確認してください。 ・テレビの電源、映像入力モードが正しく設定されているか確認してください。 ・パソコンやレコーダーで記録した記録型のディスクは再生できない場合があります。(→ 11～12 ディスクについて) ・ディスクのリージョンコードが「ALL」または「2」か確認してください。 ・結露が考えられます。電源を入れた状態で、数時間待ってから再生してください。 ・本体が熱を持っている場合は、約30分程度時間を置いてからご使用ください。
画像が乱れる	・ディスクが汚れたり、傷ついていないか確認してください。汚れているときはディスクを清掃してください。 ・本製品が、ビデオレコーダーやケーブルテレビチューナーなどの映像入力端子に接続されていないか確認してください。これらの機器に接続されているとコピーガードが働き画像が乱れますので、本機をテレビに直接接続してください。
雑音や音声が乱れる	・機器が適切に接続されているか確認してください。 ・近くに強い磁気を帯びたものがある場合は、離してお使いください。
画面にディスクに関するメッセージが表示される	・本機に対応しないディスクを再生しようとしていないか確認してください。 ・パソコンやレコーダーで記録した記録型のディスクは再生できない場合があります。(→ 11～12 ディスクについて) ・ディスクの汚れ、傷を確認してください。
音が出ない	・本機やテレビのボリューム(VOL)、消音機能を確認してください。 ・適切に接続されているか確認してください。 ・一時停止、早送り/早戻し、スロー、ステップ機能実行中は音声が出力されません。
リモコンが機能しない	・電池の向きを確認してください。 ・電池が消耗している場合は交換してください。 ・本機とリモコンの間に障害物がある場合は、機能しません。
動画ファイル、音声ファイルが再生できない	・対応ファイル形式であっても再生できない場合はエンコードソフト及びエンコード方法を変えて試してください。対応するファイル形式やエンコード方法に関する詳細内容はサポートできない場合があります。
液晶画面に小さな点がある。	・液晶画面は精密な技術で製造されており、99.999%の有効画素が存在しています。ごくわずかな画素欠けや常に点灯する画素がある場合でも不良や故障ではございません。

### 18 お手入れについて

●レンズのクリーニング

レンズにゴミやほこりがたまると、音飛びしたり、画像が乱れる場合があります。このような場合はご自分でクリーニングしないでください。故障の原因となります。

●結露

結露が発生した場合、ディスクを本機に挿入すると、ピックアップレンズやディスクに水滴がつくことにより、ディスク信号が読み取れず正常に動作しないことがあります。本機はよく乾燥した状態でお使い下さい。結露が発生してしまった場合は、本体の電源を入れたまま、最低2時間は乾燥のために放置してください。



●本体のお手入れ方法

柔らかい布で乾拭きをしてください。汚れがひどい場合は、中性洗剤を水で5～6倍に薄めて布に浸し、よく絞った後に本体を拭きます。その後、必ず乾いた布で再度本体を拭いてください。アルコールやシンナー等が付着すると、印刷や塗装が剥がれる場合がありますのでご注意ください。お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。











●本製品はリチウムイオンバッテリー、光ピックアップを本体に収納しています。この部品は高温高湿環境にて保存すると、部品の寿命が短くなる場合がありますので、高温高湿環境での保存は避けてください。








### 19 製品の廃棄について








- 製品のご使用が終了し、製品を廃棄する場合は、燃えないゴミや資源ゴミ、粗大ゴミ、小型家電回収等各自自治体によって取り扱いが異なりますので、お住まいの自治体の指示に従ってください。

	<b>警告</b>	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	<b>注意</b>	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が損害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。








■ 本体、電源アダプタ(ACアダプタ、シガーソケットアダプタ)について

		火災・感電の原因となりますので、本体やACアダプタが異常なとき(煙が出ている、異常に熱い、変なにおいがする)は、ただちにご使用をやめて、ACアダプタをコンセントから抜いてください。
		火災や感電の原因となりますので、絶対に分解や改造等を行わないでください。
		火災や感電の原因となりますので、本体内部に水や異物が入ったときは、ただちにご使用を中止し、ACアダプタをコンセントから抜いてください。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
		火災や感電の原因となりますので、電源プラグはコンセントの根元までしっかり差し込んでください。また、電源プラグに濡れた手で触れないでください。
		ケガや感電の原因となりますので、お手入れの際は必ずACアダプタを抜いてください。また、雷が鳴っているときは、本体、ACアダプタに触れないでください。落雷すると、感電する恐れがあります。
		火災や感電の原因となりますので、本製品が破損した場合は、そのままご使用にならず、ACアダプタをコンセントから抜いてください。
		本製品を指定された、電源電圧以外でご使用にならないでください。指定以外の電源電圧で使用すると、火災、感電、故障の原因となります。
		本製品を水で濡らしたり、水滴のかかる場所に置かないでください。海岸や川岸などの水辺や雨天、降雪時の窓辺でのご使用や設置にはご注意ください。また、風呂場や厨房、サウナなど高温多湿な場所ではご使用にならないでください。内部に水が入ると火災、感電、故障の原因となります。
		シガーソケットアダプタは使用の場合、必ずエンジン始動後に接続してください。エンジン始動時に接続していると一時的に高電圧や大電流(サージ電流)が発生する為、故障の原因となります。また本体が異常な時(発煙、熱い、においがする)は、シガーソケットから外してください。

		本体を傾いた場所や不安定な場所に設置しないでください。本体が落下して、破損やケガをする原因となります。
		本体の内部に異物を入れないでください。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。また、本製品を乳幼児には触れさせないでください。故障や火災、感電の原因となります。
		本体を持ち運ぶときは、過度の衝撃や振動を与えないでください。故障や破損の原因となります。
		ACアダプタを傷つけたり、破損、切断、加工をしないでください。また、ACアダプタを束ねたり、延長、固定、タコ足配線で使用しないでください。発熱などにより、火災、故障の原因となります。ACアダプタが傷ついている場合は、ただちにご使用をやめてください。火災や感電の原因となります。
		本体を移動させるときは、ディスクを取り出し、ACアダプタをコンセントから抜いてください。また、長期の外出をするときや長期間ご使用にならないときは、安全のため、必ずACアダプタをコンセントから抜いてください。火災などの原因となります。
		リモコンの電池は極性の向きを正しく入れてください。誤って入れると、破裂、液漏れの原因となります。また、電池を加熱、分解すると破裂する危険があります。

		通電中の本体やACアダプタに長時間触れないでください。長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。
		本体やACアダプタを、布や布団などでおおった状態で使用しないでください。熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。
		本体内部の部品をさわらないでください。けがの原因になることもあります。また、高温になった部品にさわると、やけどの原因となることがあります。ケースなどの外装部品が破損しても本体内部の部品には触れないでください。高電圧部品により感電することがあります。
		分解や改造をしないでください。火災や感電の原因となります。点検や修理は、お買い上げ店、または弊社サポートセンターにご依頼ください。
		本体の通風孔をふさいだり、風通しの悪い場所に設置しないでください。閉めきった車内や、直射日光の当たる場所に設置、放置しないでください。本体内部が高温になり故障の原因となります。
		走行中、運転されている方は危険ですので、絶対に本製品の操作等をしないでください。

■ 内蔵バッテリーについて

 注意	
	本体内部には、バッテリーが内蔵されています。バッテリーは、高温環境に弱いので、炎天下の車内等の高い温度環境で放置すると故障や不具合の原因となります。
	本体内部には、バッテリーが内蔵されています。また防水加工もされておられません。分解や水等の液体を入れる等は危険ですので行わないでください。火災、感電、故障の原因となります。
	ACアダプタを製品に接続したままの状態で使用しないでください。断続的にACアダプタを製品に接続したままの状態では、バッテリーの満充電が繰り返され、過充電状態となる恐れがあります。リチウムイオンバッテリー内蔵プレーヤーの長時間に連続使用は、過負荷による故障の原因となり、火災や感電の危険があります。ご使用にならない時は必ずACアダプタを抜いて保管してください。
	バッテリー残量が空の状態では保管しないでください。リチウムイオンバッテリー内蔵プレーヤーを、長期間にわたって使用しないなど、バッテリー残量が空の状態では保管すると、バッテリーからの自然放電が続くことにより過充電状態となる恐れがあります。
	過充電や過放電はバッテリーの劣化を早めます。バッテリーは過充電や過放電により劣化します。通常は制御回路や保護回路によって過充電や過放電を回避していますが、過充電や過放電が長期にわたって繰り返されることにより、劣化が促進します。劣化により充電電量が少なくなったバッテリーは利用時間が短くなるなど、性能が低下しバッテリーとして機能しなくなる場合があります。また劣化などにより状態が不安定になったバッテリーは、内部の電解液が気化しバッテリーパックの膨張を引き起こす場合があります。
	本体・バッテリー・ACアダプタから発煙・異臭などの異常が発生したり、破損した場合。使用中(充電中含む)であれば、ACアダプタを家庭用交流100Vコンセントから抜いて本体の電源をオフにしてください。直ちに使用中止して、弊社サポートセンターにご連絡ください。

## 21 リチウムイオンバッテリー内蔵製品の利用方法について



**AC アダプタを製品に接続したままの状態で使用しないでください。**

常時 AC アダプタを製品に接続したままの状態は充放電が繰り返され過充電の状態が長時間続くとバッテリーに負荷がかかり事故の原因となる場合があります。

長時間で使用する場合はバッテリー充電スイッチを OFF にしてください。

ご使用にならないときは必ず AC アダプタを抜いて保管してください。



**バッテリー残量が空の状態でも保管しないでください。**

長期間にわたり使用しないと自然放電により過放電状態となりバッテリー機能が低下します。

長期間で使わない場合でも 3 ヶ月に 1 度は充電することをお勧めします。



**過充電や過放電はバッテリーの劣化を早めます。**

通常は制御回路や保護回路により過充電や過放電を回避していますが、長時間にわたり繰り返されるとバッテリーの劣化が促進され、使用時間が短くなるなど機能が低下したり、バッテリー内部の電解液が気化して膨張の原因となる場合があります。

### ◆ バッテリーが膨張してしまった製品の取り扱いについて。

バッテリーが膨張すると製品を圧迫したり破損につながる場合があります。

膨張によりバッテリーが破損すると可燃性の気体が噴き出したり、引火や爆発の危険がありますので取扱には充分ご注意ください。

- ・バッテリーの膨張が確認されたら AC アダプタなどの電源を外し、電源スイッチをオフしてすぐに使用を中止してください。
- ・分解してバッテリーを取り外さないでください。
- ・熱器具や火器、直射日光などの温度が高くなる場所に近づけないでください。
- ・刃物で刺したりキズを付けたりしないでください。
- ・一時的に保管するときはビニール袋に入れ外気に触れないよう密閉してください。
- ・処分する場合は小型家電リサイクル法により各自自治体により取扱が異なります。お住まいの自治体の指示に従ってください。

### ◆ バッテリー充電スイッチのご利用をお勧めします。

#### ● 後方部 バッテリー充電スイッチ

内蔵バッテリーに対して充電動作を設定します。

ON…充電する。  
OFF…充電しない。

バッテリー充電スイッチについて

- ・工場出荷時は OFF になっています。バッテリーを充電する際は ON にしてください。
- ・業務用途など AC アダプタを接続したままご使用する場合、必ずバッテリー充電スイッチを OFF にしてください。



長時間 AC アダプタを差したまま使用する場合はバッテリー充電スイッチを OFF にしてください。

バッテリーへの通電が OFF となり過充電を防ぐことができます。